

## 引き上げレスキューフロート 取扱説明書

本製品は落水者が発生した場合の救助活動で使用する重要な救命用品です。本紙を熟読して頂いた上で実際に本製品を使用しての救助訓練を実施して頂くことをお勧め致します。

### **本製品の設置と使用準備**

本製品の収納バッグをプッシュピット(船尾側の手すり)の内側に固定します。クルーの手の届きやすい場所をお選びください。収納バッグの底面からフローティングラインのエンドが出ています。これをアンカー用のフィッティングやパッドアイなどの丈夫な場所にしっかりと結びます。プッシュピットなどへの固定は絶対にお止めください。レールが曲がるなどして適切な救助活動が行えなかったり船を損傷したりする恐れがあります。収納バッグ内部にはフローティングライン用のポケットがあります。フローティングラインは必ずこのポケット内に収納してください。フローティングラインがフロート本体と繋がっている部分がループ状になっています。落水者を引き上げる際にこのループに船上から手が届かない恐れがある場合は、引き上げ時にデッキ付近の高さに来る位置にダブルエイトノットループでアイを作っておいてください。

### **吊り上げ用テークルの準備(本製品には付属しておりません)**

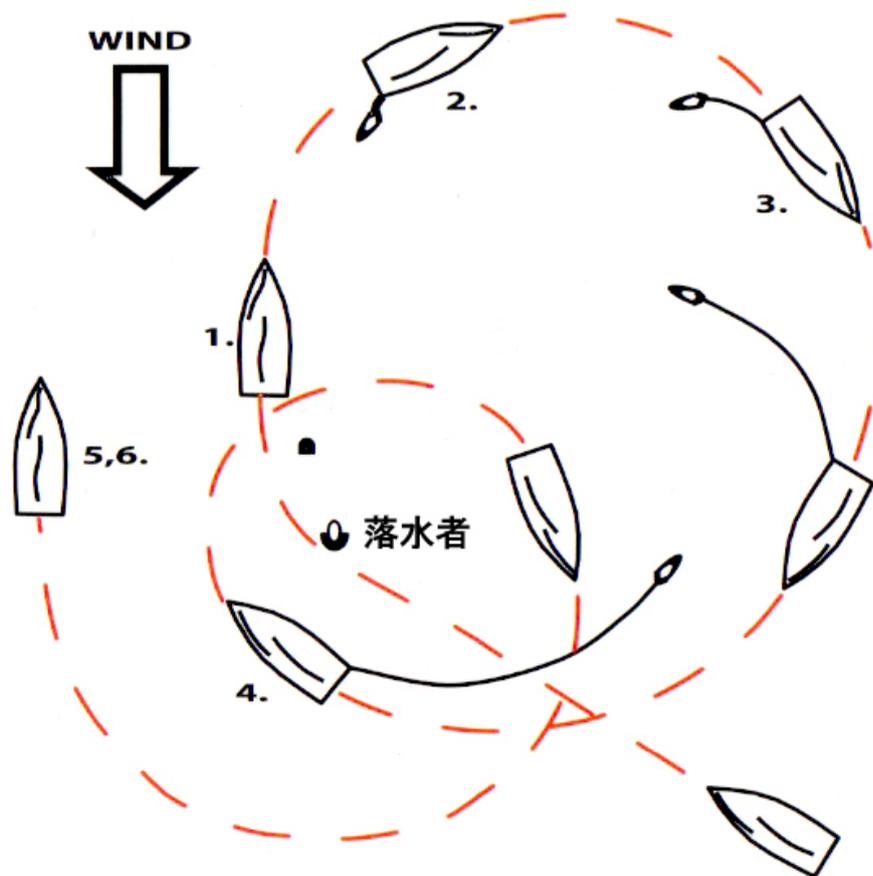
落水者を引き上げる際に3:1のテークルを使用しますので事前にご準備頂き、クルーにこのテークルの収納場所を周知徹底してください。また、本製品の使用に適する位置にシートブロックとクリート、ウィンチがあることをご確認ください(詳細後述)。

### **本製品のお手入れ**

帰港後は本製品を設置場所から取り外してください。清掃の際は石鹼を溶いたぬるま湯を用い、水でよく洗い流してください。洗濯洗剤やブリーチは使用しないでください。高温多湿を避け、乾燥した場所で保管してください。また、化学薬品に接触させないでください。収納バッグには紫外線に強い素材を用いていますが、生地用サンスクリーンなどを使用すればシミや劣化を最小限に抑えられます。不適切な使用、保存は製品寿命を縮める原因となります。また、経年劣化等により各部の劣化が見られた場合は必ず強度試験を行った上で本製品をご使用頂くか買い替えをご検討ください。

### ライン展開と落水者へのフロート受け渡し(図1参照)

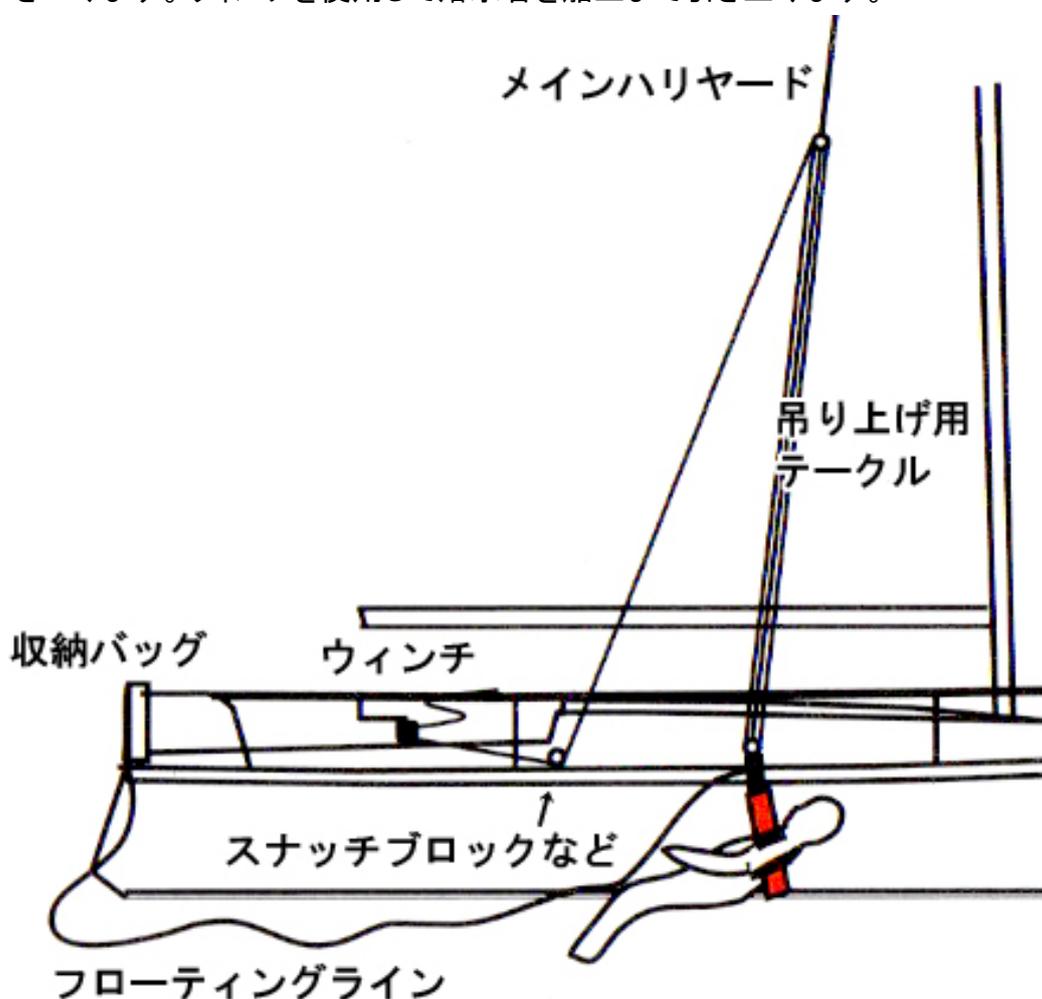
1. 落水者が発生した場合は直ちに救命浮き輪などの浮具を投げ渡してください。本製品を水中に投げ込む前に船を風上に向けます。
2. フロートを収納バッグから取り出し、船体後方に向かって投げ込みます。フロートはフローティングラインを引き出しながら船体後方を追従してきます。
3. 落水者の周りを回るように大きな円を描きながら船を走らせ、船体後方にフローティングラインを展開してください。
4. フロートおよびラインが船体後方、かつ円形に描いた進路の内側に展開されたことを確認したらフロートを落水者に接触させます。
5. 落水者がフロートに接触したら船体を風上に向けて停止させ、セールを降ろしてください。落水者はフロートに頭をくぐらせ、フロートを脇の下に抱えるようにしてつかまります。
6. 船を風下に漂わせつつフローティングラインを引いて落水者をボート付近まで引き寄せます。



[図1] ライン展開と落水者へのフロート受け渡し

## 落水者の引き上げ(図2参照)

7. 落水者を船体側面中央付近の引き上げ作業に適する位置まで引き戻します。この時落水者の身体が風向きに沿うようにしてください。
8. フローティングラインを引き、落水者の身体をフロートに吊り下げるようにして肩までを水上に引き出します。この状態でラインをクリートに固定します。
9. 吊り上げ用テークルの上端をメインハリヤードに接続し、ハリヤードを十分引き上げます。通常は3m程度引き上げます。落水者の身体が十分ライフラインを超えられる高さまで上げてください。この状態でハリヤードもクリートに固定します。
10. 吊り上げ用テークルの下端をラインのフロート接続部(ループになっています)または事前に作成しておいたエイトノットループに接続します。
11. テークルのロープエンドをシートシャックルやスナッチブロックに通し、ウィンチに巻きつけます。ウィンチを使用して落水者を船上まで引き上げます。



[図2] 落水者の引き上げ